

13) 北八ヶ岳火山

第13-2表(1) 活動履歴帳票(北八ヶ岳火山)

13. 北八ヶ岳火山		データベース(DB)等による年代・体積 【年代】0.5Ma~現在(700-900yBP) 【体積】8.990km ³ 引用DB 日本の火山(http://gbank.gsj.jp/volcano/) 【年代】西来ほか編(2014)、中野ほか編(2013) 【体積】第四紀火山カタログ委員会編(1999)											
噴火史の概略		主要参考文献 河内(1974-75)、西来・高橋(2012)											
活動期	細分・別称	噴出物	マグマ種類	噴火様式	年代	根拠	引用	信頼度	体積注) DBE(km ³)	根拠	引用	信頼度	
北八ヶ岳火山群 (50万年前以降)	横岳溶岩	NYK-1	-	水蒸気噴火：降下火山灰	640±80yBP	¹⁴ C年代	+10	○	不明	-	-	-	
					860±80yBP	¹⁴ C年代	+10	○					
		890±80yBP	¹⁴ C年代	+10	○								
		2100±80yBP	¹⁴ C年代	+10	△								
		2350±90yBP	¹⁴ C年代	+10	△								
		2370±120yBP	¹⁴ C年代	+10	△								
		2600±140yBP	¹⁴ C年代	+10	△								
		0.8ka以前	¹⁴ C年代(解釈)	+10	○								
		2420±80yBP	¹⁴ C年代	+10	○								
		2.4ka	¹⁴ C年代(解釈)	+10	○								
	2.15-2.35cal ka	¹⁴ C年代	+11	○									
	八丁平溶岩、NYK-2(雨池軽石)	安山岩	溶岩流	溶岩流、降下火砕物*11	不明	-	-	-	0.03	0.94	分布面積と層厚から算出(溶岩)	*9	○
	大岳湯岩				不明	-	-	-	0.04				
	三つ岳溶岩				不明	-	-	-	0.03				
	双子池溶岩				不明	-	-	-	0.02				
	エブロン状溶岩				不明	-	-	-	0.01				
	くつ下状溶岩				不明	-	-	-	0.01				
	ポイント状溶岩				不明	-	-	-	0.26				
	中央火口溶岩				不明	-	-	-	0.54				
	基底溶岩				不明	-	-	-	-				
	Yt-Pm4(八ヶ岳新期第4軽石)				-	降下軽石	13,000±650yBP	引用(F1年代)	*7				
				1.4万年前	F1年代	*8	△						
					29Ka	堆積速度の内挿	*7	○			*13	○	
	蓼科山溶岩	山頂溶岩	安山岩	溶岩流	溶岩流	-17±34ka	K-Ar年代	*6	△	不明	0.512	-	-
		桜谷溶岩											
		南溶岩											
		番小屋溶岩											
		西溶岩											
		天祥寺原溶岩											
	地獄谷溶岩	安山岩	溶岩流	109±7ka	K-Ar年代	*6	○	不明	0.001	-	-	-	
		中山溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	0.29	-	-	-	
	白駒池東峯溶岩	安山岩	溶岩流	107±18ka	K-Ar年代	*6	○	不明	0.09	-	-	-	
		荒倉川溶岩	安山岩	溶岩流	0.28±0.01Ma	K-Ar年代	*3	◎	不明	-	-	-	
	丸山溶岩	安山岩	溶岩流	111±10ka	K-Ar年代	*6	○	不明	0.27	-	-	-	
		茶臼山溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	0.1	-	-	-	
		鏡枯山西峯溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	0.12	-	-	-	
		丸山北峯溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	0.12	-	-	-	
		池の平牧場溶岩	安山岩	溶岩流	137±7ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-	
		蓼科高原溶岩	安山岩	溶岩流、火砕流	133±16ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-	
		鏡枯山東溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	0.15	-	-	-	
		白樺平溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	不明	-	-	-	
		冷山溶岩	安山岩	溶岩流	133±8ka	K-Ar年代	*6	○	不明	0.12	-	-	
		稲子牧場溶岩	安山岩	溶岩流、火砕流	267±10ka	K-Ar年代	*6	△	不明	-	-	-	
		湯川溶結凝灰岩	デイサイト	火砕流	不明	-	-	-	不明	-	-	-	
		海の口牧場溶岩	溶岩流	溶岩流	194±10ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-	
		すりばち池溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	-	不明	-	-	-
			天狗岳上層溶岩	安山岩	溶岩流	42±20ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-
	Yt-Pm3(八ヶ岳新期第3軽石)		安山岩	溶岩流	56ka	堆積速度の内挿	*7	△	0.2	2.84	早川法	*7	○
	天狗岳中部溶岩		安山岩	溶岩流	55±3ka	K-Ar年代	*6	○	不明				
	Yt-Pm2(八ヶ岳新期第2軽石)		安山岩	溶岩流	66ka	堆積速度の内挿	*7	△	0.2			*7	△
	箕冠山溶結凝灰岩		火砕流	火砕流	不明	-	-	-	不明	-	-	-	
	天狗岳下層溶岩		安山岩	溶岩流	176±6ka	K-Ar年代	*6	△	不明	-	-	-	
	Yt-Pm1(八ヶ岳新期第1軽石)		-	溶岩流	86±66ka	堆積速度の内挿	*7	△	0.2			*7	○
	Yt-Kw(八ヶ岳上テフラ)		-	降下軽石	171ka	堆積速度の内挿	*7	△	0.6			*13	○
	横谷峽溶岩		デイサイト	溶岩流	120±20ka	引用(K-Ar年代)	*2	◎	不明	-	-	-	-
		130±10ka	引用(K-Ar年代)	*2	◎	不明	-	-	-	-	-		
		159±7ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-	-	-		
		185±7ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-	-	-		
		264±10ka	K-Ar年代	*6	△	不明	-	-	-	-	-		
	芦平溶岩	デイサイト	溶岩流	237±8ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-		
	稲子岳溶岩	安山岩	火砕流	不明	-	-	-	-	不明	2.33	-	-	
		稲子岳溶岩	デイサイト	溶岩流	0.36±0.01Ma	K-Ar年代	*3	◎	不明	-	-	-	
		不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	糸堂火砕流	デイサイト	火砕流	不明	-	-	-	-	不明	-	-	-	
		糸堂溶岩	溶岩流	118±21ka	K-Ar年代	*6	○	不明	-	-	-	-	
		冷山黒曜石	流紋岩	溶岩流	不明	-	-	-	不明	-	-	-	
		雨池東峯溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	不明	0.03	-	-	
		雨池山溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	0.02	分布面積と層厚から算出	*9	○	
		前蓼科山溶岩	安山岩	溶岩流	0.24±0.01Ma	K-Ar年代	*3	◎	不明	0.78	-	-	
		2161峰溶岩	安山岩	溶岩流	不明	-	-	-	不明	-	-	-	
		双子峯溶岩	デイサイト	溶岩流	0.38±0.02Ma	K-Ar年代	*3	◎	不明	0.28	-	-	
		摺鉢山溶岩	デイサイト	溶岩流	不明	-	-	-	不明	0.04	-	-	
		白駒林遺溶岩	-	溶岩流	0.45±0.02Ma	K-Ar年代	*3	◎	不明	-	-	-	

第13-2表(1) 続き

火山群	火山名	岩種	地質	年代	年代	精度	信頼度	備考
屏風岩火山体 (90~85 万年前 ⁴⁾)	屏風岩溶岩	安山岩	溶岩流、火砕岩	0.88±0.01Ma	K-Ar年代	*4	◎	1.8
	細小路川溶岩	デイサイト	溶岩流	0.89±0.01Ma 1.06±0.03Ma	K-Ar年代 K-Ar年代	*4 *6	◎ ○	0.4
	火山噴出物(未区分)	—	—	不明	—	—	—	1.5
剣ヶ峰火山体 (80~110 万年前 ⁴⁾)	かぶと岩溶岩	デイサイト	溶岩流	不明	—	—	—	>0.05
	剣ヶ峰上部溶岩	安山岩	溶岩流、火砕岩	0.82±0.02Ma	K-Ar年代	*3	◎	0.2
	剣ヶ峰火砕岩類	玄武岩	溶岩流、火砕岩(溶結)	0.85±0.01Ma	K-Ar年代	*3	◎	0.7
	千代里牧場溶岩	玄武岩質安山岩	溶岩流	0.83±0.03Ma	K-Ar年代	*3	◎	1.4
	剣ヶ峰東峰溶岩	安山岩	溶岩流、火砕岩	不明	—	—	—	0.3
	八千穂高原溶岩類	玄武岩	溶岩流、火砕岩(溶結)	不明	—	—	—	13.3
	大石川二股溶岩	玄武岩質安山岩	溶岩流、火砕岩	1.04±0.04Ma	K-Ar年代	*3	◎	>0.6
火山噴出物(未区分:駒出池側火山体包含)	—	—	不明	—	—	—	18	
駒出池側火山体 (80~110 万年前 ⁴⁾)	本間川溶岩	玄武岩質安山岩	溶岩流、火砕岩	不明	—	—	—	>0.3
	大石川溶岩	安山岩	溶岩流、火砕岩	1.01±0.02Ma	K-Ar年代	*3	◎	>0.3
	千代里溶岩	玄武岩	溶岩流	1.01±0.07Ma	K-Ar年代	*3	◎	>0.2
	駒出池火山砕屑岩類	玄武岩	溶岩流、火砕岩(溶結)	0.93±0.04Ma	K-Ar年代	*3	◎	9.6
八柱火山群 (80~120 万年前)	水無川溶岩類	玄武岩	溶岩流	0.87±0.03Ma 0.92±0.02Ma	K-Ar年代 K-Ar年代	*3 *3	◎ ◎	5.6
	大石溶岩	—	—	0.93±0.02Ma	K-Ar年代	*3	◎	>0.3
	八柱沢溶岩	デイサイト	溶岩流、火砕岩(溶結)	1.00±0.01Ma	K-Ar年代	*3	◎	0.4
	大岳川溶岩	玄武岩	溶岩流、火砕岩	不明	—	—	—	0.6
	入堂川溶岩	デイサイト	溶岩流	1.01±0.01Ma	K-Ar年代	*3	◎	0.2
	大石川火砕流堆積物	デイサイト	火砕岩	1.02±0.01Ma	K-Ar年代	*3	◎	>0.1
	八都火山砕屑岩類	玄武岩	火砕岩(溶結)	0.98±0.03Ma	K-Ar年代	*3	◎	15.5
	火山噴出物(未区分)	—	—	不明	—	—	—	20
	竜ヶ峰火山体 (80~110 万年前 ⁴⁾)	竜ヶ峰溶岩	安山岩	溶岩流、火砕岩	0.99±0.01Ma 1.02±0.01Ma	K-Ar年代 K-Ar年代	*4 *4	◎ ◎
協和牧場溶岩	—	—	1.04±0.04Ma 1.03±0.03Ma	K-Ar年代 K-Ar年代	*4 *6	◎ ○	0.6	
宇山堰溶岩	—	—	1.08±0.03Ma	K-Ar年代	*4	◎	2.2	
火山噴出物(未区分)	—	—	不明	—	—	—	0.5	
トキンの岩 火山体 (春日 火山岩類) (95~120 万年前 ⁴⁾)	大河原峠火砕岩類	玄武岩	溶岩流、火砕岩(溶結)	0.98±0.02Ma	K-Ar年代	*4	◎	1.6
	唐沢溶岩類	玄武岩	溶岩流	0.98±0.04Ma 1.00±0.02Ma	K-Ar年代 K-Ar年代	*4 *4	◎ ◎	6.7
	長門溶岩類	玄武岩~安山岩	溶岩流	不明	—	—	—	7.2
	万仁田沢溶岩	デイサイト	溶岩流	不明	—	—	—	>0.5
	望月火山砕屑岩類	玄武岩	火砕岩	1.08±0.02Ma 1.17±0.03Ma 1.18±0.04Ma	K-Ar年代 K-Ar年代 K-Ar年代	*4 *4 *4	◎ ◎ ◎	40.4
	鹿曲川溶岩	玄武岩質安山岩	溶岩流、火砕岩	1.09±0.02Ma	K-Ar年代	*4	◎	0.4
	曇石溶岩	安山岩	溶岩流	1.1±0.03Ma	K-Ar年代	*12	○	1.4
	火山噴出物(未区分)	—	—	不明	—	—	—	15

※1: 第四紀火山カタログ委員会編(1999)を引用
※2: 文献中の階段図等から読み取った値
注) DREに換算されている場合は斜体で表記した

・放射年代: ◎ 直接付録文、○ 譲渡資料等
△ 測定と考慮、註記・測定に疑問、信頼未記載
* 信頼度の内訳、補間関係名は省略
● 上下層が放射年代で規定、▲ 上下層が未規定
- 古文書解析、近代観測、◎

信頼度
◎>○>△

引用文献

*1: 河内晋平 (1974-75): 夢科山地の地質、地域地質研究報告 5万分の1地質図幅、119p.

*2: 大石雅之 (2010): 斑岩磁物の屈折率に基づく八ヶ岳新期テフラ群川上テフラの給源火口推定、地学雑誌、119、pp.33-45.

*3: 西来邦章、松本哲一、宇都浩三、高橋 康、三宅康幸(2007): 中部日本、八ヶ岳地域の火山活動の再検討、地質学雑誌、113、pp.193-211.

*4: Nisiki, K., Takahashi, K., Matsumoto, A. and Miyake, Y. (2011): Quaternary volcanism and tectonic history of the Suwa-Yatsugatake Volcanic Province, Central Japan. Journal of Volcanology and Geothermal Research, 203, pp.158-167.

*5: 西来邦章、高橋 康 (2012): 中部日本、八ヶ岳火山群の火山形成史、地質学雑誌、118、pp.499-515.

*6: 松本哲一、宇都浩三、水野清秀 (1999): 夢科山地域に分布する北八ヶ岳火山群のK-Ar年代、日本火山学会1999年秋季大会講演予稿集、p20.

*7: 大石雅之、鈴木毅彦 (2004): 八ヶ岳火山を起源とする新期テフラ群の層序と噴火史、火山、49、pp.1-12.

*8: 八ヶ岳団体研究グループ (1976): 八ヶ岳火山活動の概要-とくに中期洪積世以降の火山活動について-、地球科学、30、2、pp.87-94.

*9: Kawachi, S., Nakaya, S. and Muraki, K. (1978): YPM-IV pumice bed in Northern Yatsugatake, Yatsugatake Volcanic Chain, central Japan -Studies on Yatsugatake tephra Part I-. 地質調査所月報、29、pp.21-33.

*10: 奥野 充 (1995): 古土壌の加速器140年代による噴火年代の推定、名古屋大学加速器質量分析結果報告書、6、pp.43-52.

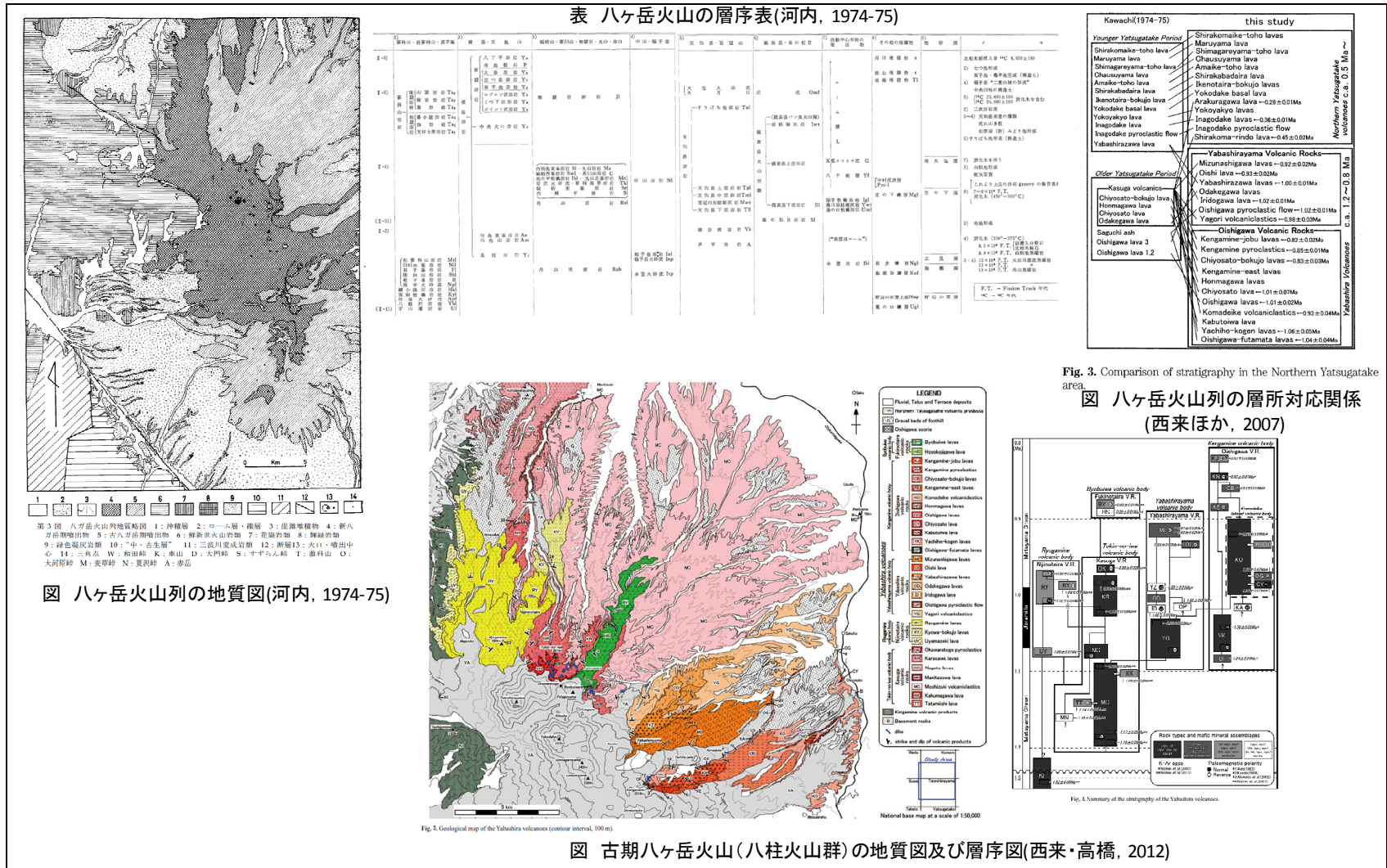
*11: 奥野 充、小林哲夫 (2011): 北八ヶ岳・横岳溶岩ドームにおける最新のマグマ噴火、日本地学連合講演要旨、022、pp.343.

*12: 河内晋平、早津賢二 (1997): 八ヶ岳・妙高山群と周辺地域火山岩のK-Ar年代、日本火山学会講演予稿集、P18、pp.102.

*13: 須藤 茂、猪股隆行、佐々木 寿、向山 栄 (2007): わが国の降下火山灰データベース、地質調査研究報告、58、9/10、pp.261-321.

第 13-2 表 (2) 活動履歴帳票 (北八ヶ岳火山)

13. 北八ヶ岳火山



第13-4表 収集文献リスト（北八ヶ岳火山）

13 北八ヶ岳火山-1-

No	著者	発行年	題名	雑誌名	記載事項の有無										備考
					噴出量- 時間 階段図	噴出量 (体積)	方法	活動 年代	方法	層序	噴出物 分布	噴火 様式	マグマ 特性	その他	
13-a	及川輝樹, 西来邦章, 名取克裕	2005	北八ヶ岳火山の活動年代-新期/古期区分の再検討について-	日本地質学会 講演要旨集	×	×	-	○	A (K-Ar)	×	○	×	×	-	
13-b	大石雅之, 鈴木毅彦	2004	八ヶ岳火山を起源とする新期テフラ群の層序と噴火史	火山	◎ (●)	○	a, c	○	B, D	○	○	○	×	-	
13-c	大石雅之	2010	斑晶鉱物の屈折率に基づく八ヶ岳新期テフラ群川上テフラの給源火口推定	地学雑誌	×	×	-	○	B, D	○	○	×	×	-	
13-d	奥野 充, 中村 俊夫, 守屋 以智雄	1994	北八ヶ岳火山, 横岳溶岩ドームの完新世噴火活動	日本地質学会 講演要旨集	×	×	-	○	A (¹⁴ C)	○	×	×	×	-	
13-e	奥野 充	1995	古土壌加速器 ¹⁴ C年代による噴火時代の推定	名古屋大学加速器質量 分析計業績報告書	×	×	-	○	A (¹⁴ C)	○	×	×	×	-	
13-f	奥野 充, 小林哲夫	2011	北八ヶ岳・横岳溶岩ドームにおける最新のマグマ噴火	日本地形学連合 講演要旨集	×	×	-	○	A (¹⁴ C)	×	×	○	×	-	
13-g	Kaneoka, I. and Kawachi, S.	1983	K-Ar Ages of Volcanic Rocks from the Northern Area of the Yatsugatake Volcanic Chain, Central Japan	地質学雑誌	×	×	-	○	A, D (K-Ar)	×	×	×	×	-	
13-h	河内晋平	1974	蓼科山地域の地質	地域地質研究報告	×	×	-	○	A (¹⁴ C, FT)	○	○	○	○	-	
13-i	河内晋平	1977	八ヶ岳地域の地質	地域地質研究報告	×	×	-	×	-	○	○	○	○	-	南八ヶ岳に関する情報
13-j	Kawachi, S., Nakaya, S. and Muraki, K.	1978	YPM-IV pumice bed in Northern Yatsugatake, Yatsugatake Volcanic Chain, central Japan-Studies on Yatsugatake tephra Part 1-	地質調査所月報	×	○	a	×	-	○	○	×	○	-	
13-k	河内晋平, 早津賢二	1997	八ヶ岳・妙高山群と周辺地域火山岩のK-Ar年代	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	A (K-Ar)	×	×	×	×	-	
13-l	高橋 康	2006	北八ヶ岳火山と烏帽子火山群の火山形成史-小諸層群の更新統火山岩類との対比に基づく考察-	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	F	○	○	×	○	-	
13-m	高橋 康, 西来邦章	2006	中部日本, 北八ヶ岳火山北麓に分布する前期更新世火山岩類の火山層序-北八ヶ岳~塩嶺地域における大規模マグマ活動について-	地質学雑誌	×	○	a	○	D	○	○	○	○	-	
13-n	高橋正樹, 小林哲夫	1998	9. 北八ヶ岳火山 火山の内部構造と多様な岩石をみる	フィールドガイド 日本の火山<6>	×	×	-	○	F	○	○	×	○	-	
13-o	西来邦章	2001	北八ヶ岳における前期更新世火山岩類の層序の再検討	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	D	○	○	×	○	-	
13-p	西来邦章	2002	北八ヶ岳火山東部における前期更新世火山岩類の層序と古地磁気学的特徴	日本地質学会 講演要旨集	×	×	-	○	E	○	×	×	○	-	
13-q	西来邦章	2003	北八ヶ岳火山東麓地域の前期更新世火山岩類の層序-山体部と山麓域の対比について-	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	D	○	×	○	○	-	
13-r	西来邦章, 三宅康幸	2003	北八ヶ岳火山における前期更新世の火山活動	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	A, D (K-Ar)	×	○	×	○	-	
13-s	西来邦章	2004	北八ヶ岳火山北麓地域に分布する前期更新世火山岩類の層序と火山活動	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	B, D	○	×	○	○	-	
13-t	西来邦章	2005	北八ヶ岳火山東麓地域の前期更新世火山岩類の層序(その2)-八柱山周辺の火山層序について-	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	B, D	○	×	×	○	-	
13-u	西来邦章, 高橋 康, 松本哲一, 宇都浩三	2005	北八ヶ岳火山の活動年代-新期/古期区分の再検討について-	日本地質学会 講演要旨集	×	×	-	○	A, B (K-Ar)	○	×	○	○	-	
13-v	西来邦章, 松本哲一, 宇都浩三, 高橋 康, 三宅康幸	2007	中部日本, 八ヶ岳地域の火山活動の再検討	地質学雑誌	×	×	-	○	A, D (K-Ar)	○	○	×	○	-	
13-w	西来邦章, 及川輝樹, 太田 靖, 松本哲一, 宇都浩三, 三宅康幸	2009	長野県大門峠地域に分布する流紋岩質溶岩ドームのK-Ar年代: 諏訪-八ヶ岳火山地域の流紋岩類の活動時期について	火山	○ (▲)	○	a, c	○	D	×	×	×	×	-	
13-x	Nishiki, K., Takahashi, K., Matsumoto, A. and Miyake, Y.	2011	Quaternary volcanism and tectonic history of the Suwa-Yatsugatake Volcanic Province, Central Japan	Journal of Volcanology and Geothermal Research	×	○	a, c	○	D	×	○	×	×	-	
13-y	西来邦章, 高橋 康	2012	中部日本, 八柱火山群の火山形成史	地質学雑誌	×	×	-	×	-	×	○	×	×	-	八柱火山群に関する情報
13-z	長橋良隆, 吉川周作, 宮川 ちひろ, 内山 高, 井内美都	2004	近畿地方および八ヶ岳山麓における過去43万年間の広域テフラの層序と編年-EDS分析による火山ガラス片の主要成分化学組成-	第四紀研究	×	×	-	○	B	○	×	×	×	-	

◎:記載あり(優良) a:地質調査
○:記載あり b:地質図等
(噴出量の対象) c:引用
●:降下火砕物 d:その他
■:溶岩流 e:不明
▲:山体一括

A:放射年代
B:層序
C:本文書記載
D:引用
E:その他
F:不明

第13-4表 続き

13 北八ヶ岳火山-2-

No	著者	発行年	題名	雑誌名	記載事項の有無										備考
					噴出量- 時間 階段図	噴出量 (体積)	方法	活動 年代	方法	層序	噴出物 分布	噴火 様式	マグマ 特性	その他	
13-A	早川由紀夫	2011	平安時代に起った八ヶ岳崩壊と千曲川洪水	歴史地震	×	×	-	○	C	×	×	○	×	-	
13-B	内山 高、八ヶ岳団体研究グループ	2002	中期更新世の八ヶ岳火山活動史	日本第四紀学会 講演要旨	×	×	-	○	f	○	×	○	×	-	
13-C	松本哲一、宇都浩三、水野清秀	1999	蓼科山地域に分布する北八ヶ岳火山岩類のK-Ar年代	日本火山学会 講演予稿集	×	×	-	○	A (K-Ar)	○	×	×	×	-	
13-D	八ヶ岳団体研究グループ	1976	八ヶ岳火山活動の概要-とくに中期洪積世以降の火山活動について-	地球科学	×	×	-	○	A (FT)	○	○	×	×	-	
13-E	八ヶ岳団体研究グループ	1988	八ヶ岳山麓の地質概要	八ヶ岳山麓の第四系、 地団研専報	×	×	-	×	-	○	○	×	×	-	
13-F	北八ヶ岳サブグループ	1988	八ヶ岳山麓の鮮新・下部更新統-特に八千穂層群について-	八ヶ岳山麓の第四系、 地団研専報	×	○	a	×	-	○	○	×	×	-	
13-G	八ヶ岳団体研究グループ	1988	八ヶ岳山麓の中部更新統	八ヶ岳山麓の第四系、 地団研専報	×	×	-	×	-	○	○	×	×	-	
13-H	八ヶ岳団体研究グループ	1988	八ヶ岳山麓の上部更新統	八ヶ岳山麓の第四系、 地団研専報	×	×	-	×	-	×	×	×	×	-	
13-I	八ヶ岳団体研究グループ	1988	八ヶ岳の火山活動と湖盆の変遷	八ヶ岳山麓の第四系、 地団研専報	×	×	-	×	-	○	○	×	×	-	
13-J	須藤 茂、猪股隆行、佐々木 寿、 向山 栄	2007	わが国の降下火山灰データベース	地質調査研究報告	×	○	d	○	E	×	○	×	×	分布を引用し GISで算出	
13-K	町田 洋、新井勇夫	2011	新編 火山灰アトラス 日本列島とその周辺	東京大学出版会	×	○	a, c	○	A, B, C, D	○	○	○	○	-	
13-L	気象庁 編	2013	46. 横岳	日本活火山総覧 (第4版)	×	○	c	○	D	○	×	×	×	-	
13-M															
13-N															
13-O															
13-P															
13-Q															
13-R															
13-S															
13-T															
13-U															
13-V															
13-W															
13-X															
13-Y															
13-Z															

◎:記載あり(優良) a:地質調査
○:記載あり b:地質図等
(噴出量の対象) c:引用
●:降下火砕物 d:その他
■:溶岩流 e:不明
▲:山体一括

A:放射年代
B:層序
C:本文書記載
D:引用
E:その他
F:不明